

集落みんなで鳥獣害対策に取り組む体制づくり

越前町榎津集落では年々深刻化する鳥獣被害に対応するため、平成 23 年に農家だけでなく住民全体が参加する「榎津区鳥獣対策実行委員会」を設立。侵入防止と捕獲の 2 部体制により守りと攻めの両面から対策を実施している。これまでに、①集落環境診断、②区民参加で里山の雑木伐採や下草刈り等を行う「わち狩り」山際すっきり作戦、③里山内に複合柵（ネット柵＋電気柵 2 段）設置と点検通路の整備、④捕獲檻設置によるイノシシやアライグマ、カラスの有害捕獲、⑤被害対策実施状況の区全戸への報告、⑥お寺での鳥獣供養などを実施している。平成 24 年度には被害対策の実績が認められ、北陸農政局長賞も受賞している。

地区の概要

地区名	越前町榎津集落
戸数	227 戸（農家 50 戸）
人口	856 人
耕作面積	55 ヘクタール
主な生産物	水稲
対策開始年度	平成 23 年度から



越前町榎津集落

現在の状況と問題点

- ・榎津区鳥獣対策実行委員会の構成員は 30 名で、約 10 km の境界線を 10 区間に分割。1 区間 3 名程度で月 2 回の点検維持管理を実施している。委員には手当が支給されている。
- ・有害駆除は、アライグマ捕獲従事者 3 名、猟友会会員 1 名、イノシシ用 4 基、アライグマ用 7 基の体制で継続的に実施している。（区民だよりで捕獲状況を毎月報告）
- ・実行委員は設立当初からの構成員がほとんどで、高齢化に伴う世代交代の準備が進んでいない。
- ・近年、サルによる家庭菜園被害が目立っているが、集落ぐるみの効果的な対応策はとられていない。



## 普及活動の内容

- ・丹南農林総合事務所では、獣の行動特性・侵入防止柵の効果的な使用法などの知識・情報を持つ人材の育成を目的に、区長や農家組合長を対象にした集落リーダー研修会を開催しており、檜津区の役員を中心に毎年参加している。平成30年には管内の優良事例として、事例発表も行っている。
- ・檜津集落が取り組みを開始するきっかけとなった研修会の講師は、「鯖江市河和田東部美しい山里の会」のリーダーで「農作物被害対策アドバイザー」でもある服部氏。集落の要請を受けて、現地指導・集落講習会も実施している。

## 取組の成果

(単位：ha 千円)

	実施前（平成22年）	実施後（平成23年）	増減
被害面積	5	0.5	▲4.5
被害金額	4,183	251	▲3,932

## 集落の意見

- ・複合柵を里山の中に設置し、10班体制で点検管理を実施するようになってからは、イノシシやシカの被害がなくなっている。さらに、対策をきっかけに区民のまとまりが一層よくなり、「コミュニティ林業整備事業（県単）」の導入や古代米を用いた「田んぼアート」活動など、地域の活性化につながっている。



集落ぐるみの山際すっきり作戦



田んぼアート

## 今後の課題

- ・獣害対策に関する知識・情報・仕組みが次世代に引き継がれるよう、準備する必要がある。
- ・サル対策として、集落内の放任果樹伐採と家庭菜園への侵入防止柵設置、効果的な追払い体制づくりの支援が必要である。
- ・当地区での取組みを優良事例として、管内に普及拡大を図っていく。